



## 佐世保市立吉井中学校

校訓：「耕心」

所在地：佐世保市吉井町前岳3番地2

校長名：川口 貴晴

生徒数：154名（8学級）

### 1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

校訓である「耕心」の精神のもと、教師と生徒、生徒同士、教師同士の心のふれあいと切磋琢磨を大切にしながら、

- (1) 生徒自身が「友達が好き、学級が好き、学校が好き」と感じることを。
- (2) 「生徒一人一人の夢や志をはぐくむ」こと。
- (3) お互いの存在を「認め合い」、お互いが「切磋琢磨」しながら自分自身を高め、将来に向かって前向きに進んでいくこと。

を目指す。その具現化のために、『伸ばそう 学力』『鍛えよう 心と体』『語ろう 夢や志』をテーマとして、特色ある学校づくりを推進し、実践した。



### 2 実践内容

#### (1) 鍛えよう、心と体

- 佐世保実業高校の主催事業で「徳育講演会」を実施した。中学生にとって参考になる講話をしていただき、豊かな心の育成につながった。



- 人権集会で掛屋剛志さんを招いての人権コンサートを実施した。素晴らしい演奏と透き通った歌声にみんな感動し、人権の大切さ、平和の大切さについて学習することができた。また、生徒の情操教育につながった。



- 佐世保市総合医療センターの助産師 山口 沙織先生をお招きし、生徒と保護者へ向けた「性教育講演会」を実施した。例年は1学年のみの実施であったが、2学年でも実施し、命の誕生について貴重な講話を聞き、自他の生命の尊さを学習することができた。

○ プロの演奏家を招いてのスクールコンサートを実施した。生徒たちはなかなか聴くことのできない素晴らしい演奏を目の前で聴くことができ、情操教育へとつなげられた。

○ 福祉体験を行い、実際に車いすに乗って体験したり、アイマスクを着用し、目の不自由な人の体験を行ったりした。この体験を通して、障がいのある方々の気持ちに立って行動することの大切さを学ぶことができ、人権について考える機会となった。



○ 学校と地域・保護者で「地域クリーン作戦」を実施し、校区内の清掃活動を行った。保護者や地域と協働しながら体験活動を積極的に進め、地域社会の一員としての自覚や地域に貢献する態度を育てることにつながった。



○ 2学年では総合的な学習の時間で「環境」をテーマに「トイレ清掃体験事業」と「環境問題に取り組む企業へのインタビュー」を行った。この体験を通して、トイレをきれいに使う意識の向上と環境を整えることの大切さに気付くことができた。



## (2) 伸ばそう、学力

○ i - c h e c k の2回目を学校独自で実施した。1回目の結果を受けて、生徒一人一人に目を向けた生徒理解に取り組み、その成果を2回目で検証することができた。生徒の個性と自主性を伸ばす指導の工夫につなげることができた。



○ 音楽コンクールでは、昨年度に引き続き、作曲コンクールを行った。専用のソフトを使用し、生徒全員が作詞と作曲を行い、発表した。創作意欲の向上と創意工夫が見られ、学ぶ意欲の向上へつながった。

○ 図書ボランティアによる図書室整備を行った。わかりやすい図書の紹介や掲示を行い、利用者・貸し出し数増加に貢献した。図書に親しむ生徒が増えた。

○ 1、2学年生徒に対して、i - c h e c k の2回目を学校独自で実施した。1回目の結果を受けて、生徒一人一人の心の状況を全職員で確認し、生徒理解に努めた。その後、生徒にどのような変容が見られたのか、2回目の調査で検証した。

- 感染症拡大防止を図るために、合唱コンクールを作曲コンクールへと変え、実施した。生徒の自ら進んで学ぶという意欲の向上を図った。その成果をDVDに残し、保護者へと配付した。

### (3) 語ろう、夢や志

- 公立、私立高校の先生方を招き、2、3学年生徒及び保護者に向けた高校説明会を実施した。各高校の特色など保護者と共に聞くことで、夢やあこがれ・志をもって、将来について考えるキャリア教育の推進につなげることができた。

- 1学年では、吉井地区コミュニティセンターと協働して、総合的な学習「地域学習」を行った。地域の歴史に触れる機会を多く設けることで、地域への愛着と感謝の気持ちの向上につなげることができた。次年度以降も継続していく。



- 聖和女子学院による地域学習発表会を行った。英会話部の生徒が、「直谷城」の地域学習を行った成果を発表した。この発表を聴くことで、1学年で進めている「地域学習（ふるさと学習）」の参考になった。また生徒の学びの意欲向上へつながった。



## 4 成 果

- 1学年では、総合的な学習の時間の一環として「ふるさと学習」に取り組んだ。地域の歴史に触れる機会を多く設けることで、地域への愛着と感謝の気持ちの向上につなげることができた。

- 2学年では総合的な学習の時間で「環境」をテーマに大きく2つのことについて取り組んだ。1つは「トイレ清掃体験事業」である。明社協の方々、日本を美しくする会の方々など、多くのトイレ清掃の専門家を招き、また、西本教育長も生徒と一緒に清掃体験をされた。心を磨くためにトイレ清掃を頑張ろうと決意し、みんな一生懸命、取り組むことができていた。この体験を通して、トイレをきれいに使う意識の向上と環境を整えることの大切さに気付くことができた。

2つめは、地域のいくつかの企業と本校生徒をリモートでつなぎ、企業は環境を守るために具体的にどのように取り組んでいるか、生徒がインタビューを行った。社会全体で環境問題に取り組む意識の向上につなげることができた。

- 1、2学年生徒に対して、i-checkの2回目を学校独自で実施した。1回目の結果を受けて、生徒にどのような変容が見られたのか、2回目の調査で検証することができた。
- 公立、私立高校の先生方を招き、2、3学年生徒及び保護者に向けた高校説明会を実施した。将来について考えるキャリア教育の推進につなげることができた。
- 学校と地域・保護者で「地域クリーン作戦」を実施し、校区内の清掃活動を行った。保護者や地域と協働しながら体験活動を積極的に進め、地域社会の一員としての自覚や地域に貢献する態度を育てることにつながった。

- 図書ボランティアによる図書室整備を行った。わかりやすい図書の紹介や掲示を行い、利用者・貸し出し数増加に貢献した。図書に親しむ生徒が増えた。
- 人権集会で掛屋剛志さんを招いての人権コンサートを実施した。素晴らしい演奏と透き通った歌声にみんな感動し、人権の大切さ、平和の大切さについて学習することができた。また、生徒の情操教育につながった。
- 聖和女子学院による地域学習発表会を行った。英会話部の生徒が、「直谷城」の地域学習を行った成果の発表があった。この発表を聴くことで、1学年で進めている「地域学習（ふるさと学習）」の参考になった。また生徒の学びの意欲向上へつながった。
- 佐世保市総合医療センターの助産師 山口 沙織先生をお招きし、生徒と保護者へ向けた「性教育講演会」を実施した。例年は1学年のみの実施であったが、2学年でも実施し、命の誕生について貴重な講話を聞き、自他の生命の尊さを学習することができた。
- プロの演奏家を招いてのスクールコンサートを実施した。生徒たちはなかなか聴くことのできない素晴らしい演奏を目の前で聴くことができ、情操教育へとつなげられた。
- 福祉体験を行い、実際に車いすに乗って体験したり、アイマスクを着用し、目の不自由な人の体験を行ったりした。この体験を通して、障がいのある方々の気持ちに立って行動することの大切さを学ぶことができ、人権について考える機会となった。
- 「豊かな心の育成」の一つとして実施した「命の講演会」では、命の大切さについて考えさせる機会を設けたことで、食への感謝や自他の命を大切にすることについて真剣に考え、豊かな心の育成につなげることができた。

## 5 今後の課題

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るために、2学年のキャリア教育の充実を目指した職場体験学習が中止となったが、「環境」をテーマにした「トイレ清掃体験事業」を、明社協の方々、日本を美しくする会の方々など、多くの専門家を招き、実施できたことはよかった。このような体験活動をさらに多く実施したいところではあったが、感染症拡大防止の中で、対策をとりながら、実施できることを再度確認していかなければならない。また、昨年度から実施した「地域クリーン作戦」には、地域の方、保護者の方と協働して取り組むことができた。しかし、昨年度に引き続き、PTA役員の方の参加が中心で、多くの保護者の参加を増やす手立てを考えていかなければならない。

i - c h e c kの2回目を実施したことで、生徒にどのような変容が見られたのか、検証することができたが、同じように学力向上についても、本校独自の基礎学力向上のための手立てを、学習教材の購入や授業改善に関わる専門家を招聘した研修会の実施を通して、とっていきたい。また、特別な支援を要する生徒への支援をどのように行っていくか研修を深めていきたい。

また、生徒の自己肯定感を高めるために、主体性をもたせた行事の実施、各種講演会の開催による社会性の醸成を今後も柱として取り組んでいきたい。